

平成29年 7月 5日

政務活動費成果届出書

届出者 岩田玲子

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシテイを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

人が街を作っていく考え方の講義はとても有効で目的は達成できた。
・まちづくり、ビジョンは他人事ではなく、自分事の人をどれだけ増やすか。コンサルが作った計画ではなく、自分たちが作った計画とするため、20年後にも責任を持てる人を。
・若い人だけ集めて、フューチャーセッション、ワークショップ、考える。⇒自分たちが関わったことで未来が変わる。対話から新しいことが生まれる。参加型のまちづくり。
・To doではなく、want toの考え方。・・・加藤先生のような後押しをしてくれる人のアドバイスは必要。

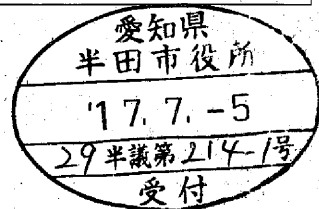
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

人が主役の街づくりをすべき。そのためには、住民の声を聞くこと。街づくりを知っている方をファシリテーターにして、若い人を中心に集め、フューチャーセッションを行い、やりたいこと、試したいことを紡いでいき、自分たちで新しいものが作れるというスタンスの、人が主役の街を作ってゆく。半田市でも、そのようなファシリテーターのもと、新しく、区画整理を行う際には、チャンスを活かし、人が主役の街づくりをおこなってみることができる。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

(Empty box for additional notes)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
6/23	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金	81,000円	①
		交通費 (知多半田~神宮前)	1,100円	①
			合計 82,100円	
		[82,100円を7人で按分]	一人あたり 代表者 11,732円 他5名 11,728円	

領収書等貼付用紙

議員名 岩田玲子


タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">領 収 書</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">NO _____</p> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p style="font-size: 1.2em; text-align: center; margin: 0;">金 82,100 円 也</p> <p style="margin: 10px 0 0 40px;">但し、6月23日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金・交通費として、上記金額領収いたしました。</p> <p style="margin: 10px 0 0 40px;">平成29年6月23日 半田市議会議員 代表 岩田玲子 他 6名 様</p> <p style="text-align: right; margin: 20px 0 0 40px;">加藤武志 </p>
--

研修会の講師謝金・交通費は、同席者7名で按分する。

82,100円 ÷ 7人 = 11,728円 (6名)

11,732円 (岩田)

平成 29年 7月 5日

政務活動費成果届出書(再)

届出者 中村 宗雄

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシテイを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。知多半田駅前とJR半田駅の高架化を踏まえた、一体的な当該地域の活性化とそれに向けたビジョンを考える際の非常に重要なポイントが学べた。特に、講師が示されたものが、おぼろげながら自分自身が考えていたこの地域の活性化に向けてのビジョン作成の考え方と手法とは180度違っていたのが衝撃的であった。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

「まちづくり」は行政主導でやるという考え方を捨てるべきである。民間に眠る無尽蔵の「柔軟な発想」と「やる気」というスキルをいかに発揮させるかが、この地域の活性化のポイントである。また、「ビジョンの策定が必要」という発想自体が既にダメであり、「民間の想いが練り上げられたもの」が結果的にビジョンになると考える。「to do」でなく、「want to」の発想が成功へのカギと感じた。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

建設産業委員会の閉会中の調査事項の進め方においても、根本から考え直す必要がある。従前の様に、「県内視察」→「県外視察」→「意見集約」→「委員会報告」ではなく、予算執行の方法論は後から考えるとして、実際に当委員会(議会)が仕掛け人となり、「民間に眠る無尽蔵なスキル」を活用すべく、今年度中にワークショップを立ち上げ、それを実感する必要性を強く感じた。

確認欄	議長	管理委員長

愛知県
半田市役所
17.8.22
29半議第214号
受付

政務活動費成果届出書

届出者 中村 宗雄

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシテイを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。知多半田駅前とJR半田駅の高架化を踏まえた、一体的な当該地域の活性化とそれに向けたビジョンを考える際の非常に重要なポイントが学べた。特に、講師が示されたものが、おぼろげながら自分自身が考えていたこの地域の活性化に向けてのビジョン作成の考え方と手法とは180度違っていたのが衝撃的であった。

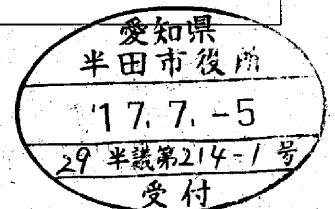
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

「まちづくり」は行政主導でやるという考え方を捨てるべきである。民間に眠る無尽蔵の「柔軟な発想」と「やる気」というスキルをいかに発揮させるかが、この地域の活性化のポイントである。また、「ビジョンの策定が必要」という発想自体が既にダメであり、「民間の想いが練り上げられたもの」が結果的にビジョンになると考える。「Have to」でなく、「Want to」の発想が成功へのカギと感じた。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

建設産業委員会の閉会中の調査事項の進め方においても、根本から考え直す必要がある。従前の様に、「県内視察」→「県外視察」→「意見集約」→「委員会報告」ではなく、予算執行の方法論は後から考えるとして、実際に当委員会(議会)が仕掛け人となり、「民間に眠る無尽蔵なスキル」を活用すべく、今年度中にワークショップを立ち上げ、それを実感する必要性を強く感じた。

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/23	14:00～ 16:00	勉強会 講師謝金		81,000円	①
		交通費 (知多半田～神宮前)		1,100円	①
			合計	82,100円	
		[82,100円を7人で按分]	一人あたり		
			代表者	11,732円	
			他5名	11,728円	

領収書等貼付用紙

議員名 中村宗雄

タイトル


中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p>領 収 書</p> <p>NO _____</p> <p><u>金 82,100 円 也</u></p> <p>但し、6月23日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金・交通費として、上記金額領収いたしました。</p> <p>平成29年6月23日 半田市議会議員 <u>代表 岩田玲子 他 6名 様</u></p> <p style="text-align: right;">加 藤 武 志 </p>

研修会の講師謝金・交通費は、同席者7名で按分する。

82,100円÷7名= 11,728円 (6名)

11,732円 (代表者)

原本は岩田議員に添付

政務活動費成果届出書

届出者 竹内功治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目的 (計画の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じてくる。クラシティを含む知多半田駅前の活性化を一体的なビジョンを想像していく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は概ね達成ができた。その理由として、今後の知多半田駅前の活性化をどの様に進めていくべきか、考えるヒントをもらえたからである。具体的には、講師が「巻きコミュニケーション」という言葉を用いたが、以前からの住人、また新たな住民など多くの人々が、自分の事として街づくりを考える必要のあることが分かったからである。

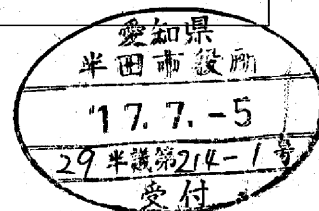
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

まちづくりを行うにあたり、地域住民や事業者などのやる気とパワーを引き出すために、多くの人たちを巻き込みながら、コミュニケーションを築いていく必要がある。そのためにもまちづくりには、地域住民や事業者が他人事ではなく自分事であるという当事者意識を持ってもらう事、そして「正しい」からではなく、「おトク」だから事業を行うという事の考えを持ってもらい、一緒に活動していく体制づくりが重要になってくる。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

WIN-WINの関係とは、安易な合意やお互いの考えの妥協点を探る事ではなく、お互いの相違点を理解して、全てを飲み込みながら新たな考えや案を生み出し、相乗効果を上げる関係のことを言う。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/23	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金		81,000円	①
		交通費 (知多半田~神宮前)		1,100円	①
			合計	82,100円	
		[82,100円を7人で按分]	一人あたり		
			代表者	11,732円	
			他5名	11,728円	

領収書等貼付用紙

議員名 竹内功治

タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。


①

領 収 書 NO _____

金 82,100 円 也

但し、6月23日開催 半田市議会議員研修会の
講師謝金・交通費として、上記金額領収いたしました。

平成29年6月23日
半田市議会議員
代表 岩田玲子 他 6名 様

加 藤 武 志 

研修会の講師謝金・交通費は、同席者7名で按分する。

82,100円 ÷ 7名 = 11,728円 (6名) ✓
11,732円 (代表者) ✓

原本は 岩田議員に添付

政務活動費成果届出書

届出者 山本半治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次の JR 半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためにこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシティを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

講師が携わってこられた地域活性化の具体例を学ぶことができ、目的は達成できた。

- ・まちの未来を創る語る場を作る。(50歳以下 U-50 で人選)
- ・まちのルールを自分たちで、地権者を中心に「地区計画」づくりを行う。
- ・互いの相違点を理解し、そこから大きな成果を引き出す。WIN-WIN (相乗効果)
- ・他人事でなく自分事にと動く人「共犯者」を如何に作るか。

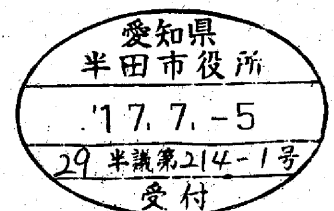
○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・地権者・地元の 50 歳以下の男女を入れた「まちの未来を創る語る場」を作り、その中に専門家、行政が入っていく。
- ・みんなで楽しみながら、同じ目線に向かう場に如何にしていくか。実績のある加藤武志氏の力を借りる。
- ・語る場の人選が最も重要となる、他人事でなく自分事にと動く人「共犯者」を如何に作るか、行政と議会全体で取り組む。

○その他 (その他特記事項があれば記載。自的とは別内容も可。)

- ・住民のやる気とパワーを引き出す「促進役」を当委員会メンバーも努め、自分たちの人脈で他人事でなく自分事にと動く人「共犯者」となる人材を見つけ出す。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/23	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金		81,000円	①
		交通費 (知多半田~神宮前)		1,100円	①
			合計	82,100円	
		[82,100円を7人で按分]	一人あたり		
			代表者	11,732円	
			他5名	11,728円	

領収書等貼付用紙

議員名 山本半治

タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">領 収 書</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">NO _____</p> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p style="font-size: 1.5em; text-align: center; margin: 0;">金 82,100 円 也</p> <p style="margin: 10px 0;">但し、6月23日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金・交通費として、上記金額領収いたしました。</p> <p style="margin: 10px 0;">平成29年6月23日 半田市議会議員 代表 岩田玲子 他 6名 様</p> <p style="text-align: right; margin: 10px 0;">加 藤 武 志 </p>

研修会の講師謝金・交通費は、同席者7名で按分する。

82,100円 ÷ 7名 = 11,728円 (6名)

11,732円 (代表者)

原本は岩田議員に添付

平成29年7月1日

政務活動費成果届出書(再)

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシテイを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

まちづくりは市民協働で行う。ハード的・ソフト的な計画を市民、自治区・町内会、地権者、NPO・ボランティア、事業者、教育機関を協働のパートナーとする。下呂市、犬山市や沖縄の事例を紹介。仕掛け人が必要、まちに仕掛けをしてto doではなくwant doが良い。そしてWIN-WINであることまた、巻きコミュニケーションを進める。様々な事例も参考になり目的は達成できた。

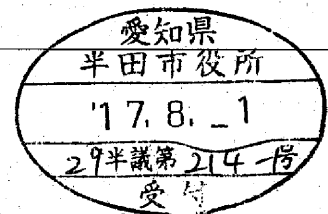
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

今進めているJR武豊線連続立体交差事業、JR半田駅前区画整理事業に合わせ地区計画づくりが必要。ハード的・ソフト的計画を作るのに市民協働で行い、特に若い地権者を中心にまちづくりをする。今回の加藤武志先生を今後も継続的に相談者としてまさに巻き込んで仕掛けていくべき。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

半田市中心市街地活性化基本計画を平成20年に策定し国の補助がなくなった平成25年以降、そのまま計画すらないのはいかがなものか。

確認欄	議長	管理委員長



平成29年 7月 5日

政務活動費成果届出書

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシテイを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

まちづくりは市民協働で行う。ハード的・ソフト的な計画を市民、自治区・町内会、地権者、NPO・ボランティア、事業者、教育機関を協働のパートナーとする。下呂市、犬山市や沖縄の事例を紹介。仕掛け人が必要、まちに仕掛けをしtodoではなくwant-todoが良い。そしてWIN-WINであることまた、巻きコミュニケーションを進める。様々な事例も参考になり目的は達成できた。

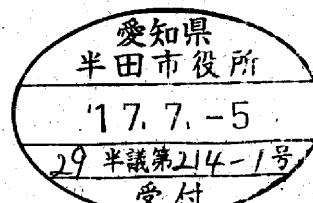
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

今進めているJR武豊線連続立体交差事業、JR半田駅前区画整理事業に合わせ地区計画づくりが必要。ハード的・ソフト的計画を作るのに市民協働で行い、特に若い地権者を中心にまちづくりをする。今回の加藤武志先生を今後も継続的に相談者としてまさに巻き込んで仕掛けていくべき。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

半田市中心市街地活性化基本計画を平成20年に策定し国の補助がなくなった平成25年以降、そのまま計画すらないのはいかなるものか。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
6/23	14:00～ 16:00	勉強会 講師謝金	81,000円	①
		交通費 (知多半田～神宮前)	1,100円	①
			合計 82,100円	
		[82,100円を7人で按分]	一人あたり	
			代表者 11,732円	
			他5名 11,728円	

領収書等貼付用紙

議員名 澤田 勝

タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。


①

領 収 書 NO _____

金 82,100 円 也

但し、6月23日開催 半田市議会議員研修会の
講師謝金・交通費として、上記金額領収いたしました。

平成29年6月23日
半田市議会議員
代表 岩田玲子 他 6名 様

加 藤 武 志 

研修会の講師謝金・交通費は、同席者7名で按分する。

$$82,100円 \div 7名 = 11,728円 (6名) -$$

$$11,732円 (代表者) \checkmark$$

原本は岩田議員に添付

政務活動費成果届出書

届出者 渡辺 昭司

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

知多半田駅前区画整理事業が一段落し、事業の経験を次のJR半田駅前の高架化の際に活かしていく必要がある。そのためこれから行う区画整理事業の半田市としてのビジョンを考える必要が生じている。クラシテイを含む知多半田駅前の活性化と一体的にビジョンを創造していく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

*街づくりのアイデアが出てくる組織をどう作るのか、行政主導にならないようにどう進めるかを主眼に研修を受けました

達成できた点

- ・構成メンバー選出方法 若い年代、地域住民でない人を数名入れる
- ・会議の議題について→行政側が決めない
- ・公益になることを市民や住民の目線で考える

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・人材の発掘→若い世代・地域外の人からは斬新な意見が出る、客観的に見て街づくりを行う
- ・その地域に何が必要で何が求められているのかを考える人材とネットワークが必要

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

これまでの町づくりは、役所と地域が押し付けあっている感があった
地域を知りすぎた人は考え方が硬直化してしまう

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時 間	内 容		金額 (円)	領収書 No.
6/23	14:00～ 16:00	勉強会 講師謝金		81,000円-	①
		交通費 (知多半田～神宮前)		1,100円-	①
			合 計	82,100円-	
		[82,100 円を 7 人で按分]	一人あたり		
			代表者	11,732円	
			他5名	11,728円	

平成29年 7月 5日

領収書等貼付用紙

議員名 渡辺昭司

タイトル

中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。


①

領 収 書 NO _____

金 82,100 円 也

但し、6月23日開催 半田市議会議員研修会の
講師謝金・交通費として、上記金額領収いたしました。

平成29年6月23日
半田市議会議員
代表 岩田玲子 他 6名 様

加藤 武志 

研修会の講師謝金・交通費は、同席者7名で按分する。

$$82,100 \text{円} \div 7 \text{名} = 11,728 \text{円 (6名)} \checkmark$$

$$11,732 \text{円 (代表者)}$$

原本は岩田議員に添付